

兵庫東支部 PC 同好会ご出席付録



No.240 : はなしのトリビア

No.240 : 2022/04/25 B コース

★ トリビア (英 trivia、「つまらない何の役にもたない雑知識」の意)

★ PC 同好会の都度折々につまらないネタをご提供 (ネタのない時はパスします) ご提供 : 北村



◎ 明治期、日本の存亡をかけた日露戦争の勝利を支えた「日英同盟」の歴史を見てみます。

★バックナンバー (発行記録) (バックナンバー再発行ご希望の方は北村にお申し出ください)

- 2012年度: No.1: (でんでら唄) No.2: (フルベッキ写真) No.3: (平安京結界図) No.4: (外国地名漢字表記)
- No.5: (苗字ルーツ) No.6: (和製漢語) No.7: (五畿七道) No.8: (皇室旗軍旗軍艦旗) No.9: (難解姓氏) No.10: (日本の仏教宗派)
- No.11: (陸軍部隊) No.12: (海峡の国際法) No.13: (海軍艦隊) No.14: (鉄道唱歌東海道) No.15: (たこ焼き) No.16: (阪急電車)
- 2013年度: No.17: (アホ・バカ) No.18: (エスカレーター) No.19: (江戸八百八町) No.20: (浪速八百八橋) No.21: (陸軍墓地)
- No.22: (大阪の電車) No.23: (お好み焼き) No.24: (鉄道の広軌と狭軌) No.25: (中華料理) No.26: (旧暦と新暦) No.27: (落語家)
- No.28: (プロ野球球団) No.29: (仏像の色々) No.30: (交通通行の左右) No.31: (50~60周波数) No.32: (日本の神様) No.33: (元号)
- No.34: (ホルモン・ドテ) No.35: (天皇・皇帝・王) No.36: (歌舞伎の系譜) No.37: (日本のビール) No.38: (映画の歴史)
- No.39: (県名の由来) No.40: (日本酒) 2014年度: No.41: (陶器と磁器) No.42: (三百諸藩) No.43: (焼酎) No.44: (国鉄の本線名)
- No.45: (ユニオンジャック) No.46: (ワイン) No.47: (日本刀) No.48: (世界三大宗教) No.49: (路面電車) No.50: (日本の洋食)
- No.51: (諜報) No.52: (関東と関西) No.53: (米海兵隊) No.54: (支那の語源) No.55: (薩摩と長州) No.56: (共産主義) No.57: (ノルマンディ)
- No.58: (龍馬暗殺) No.59: (憲法制定) No.60: (朝鮮島半島分断) No.61: (源氏と平家) No.62: (スパイ・ゾルゲ)
- No.63: (世界の酒) No.64: (東大と京大)
- 2015年度: No.65: (花押) No.66: (西郷隆盛の顔) No.67: (歴史上の国旗) No.68: (おでん) No.69: (幕末の開港) No.70: (寿司)
- No.71: (ゼロ戦と新幹線) No.72: (醤油) No.73: (東京お台場) No.74: (天ぷら) No.75: (元寇) No.76: (参謀本部と軍令部)
- No.77: (蒸気機関車) No.78: (日本の城) No.79: (満洲) No.80: (町奉行) No.81: (本能寺の変) No.82: (旧国名の由来)
- No.83: (軍用機国産) No.84: (日本の貨幣の歴史) No.85: (朝鮮半島) No.86: (シベリア出兵) No.87: (大坂の陣 400年)
- No.88: (お雑煮)
- 2016年度: No.89: (オレンジ計画) No.90: (すき焼き) No.91: (スエズ・パナマ) No.92: (焼き鳥) No.93: (台湾) No.94: (うなぎ)
- No.95: (太平洋戦争の呼称) No.96: (お茶) No.97: (アングロサクソン) No.98: (コーヒー) No.99: (祇園山笠) No.100: (二十四節気)
- No.101: (海軍乙事件) No.102: (昆布と鰹) No.103: (神戸事件と堺事件) No.104: (居酒屋) No.105: (北海道分割計画) No.106: (井)
- No.107: (陸士と海兵) No.108: (日本の伝統色) No.109: (地下鉄) No.110: (早稲田と慶応) No.111: (幻の大坂遷都)
- No.112: (琉球・沖縄)
- 2017年度: No.113: (プロ野球のサイン) No.114: (ふぐ料理) No.115: (暗号) No.116: (肉じゃが) No.117: (右前と左前)
- No.118: (神戸と横浜) No.119: (航空母艦) No.120: (新梅田食道街) No.121: (憲兵) No.122: (欧州アジア系の国) No.123: (忍者)
- No.124: (千鳥と樺太) No.125: (靖国神社) No.126: (地理上のインドの地名) No.127: (潜水艦) No.128: (うどんとそば)
- No.129: (盧溝橋事件) No.130: (朝鮮と焼肉) No.131: (日清戦争) No.132: (鍋料理) No.133: (日本列島の地政学)
- No.134: (干支と十干十二支) No.135: (日露戦争) No.136: (戒厳令)
- 2018年度: No.137: (漢字) No.138: (ラーメン) No.139: (戦国大名) No.140: (二・二六事件) No.141: (摂政と閑白) No.142: (満洲事変)
- No.143: (洛中洛外) No.144: (ロシア革命) No.145: (守護と地頭) No.146: (鳥羽伏見の戦い) No.147: (戊辰戦争)
- No.148: (日本の財閥) No.149: (室町の文化) No.150: (マンホール蓋) No.151: (西南戦争) No.152: (ナンバープレート)
- No.153: (日本と日の丸) No.154: (餃子と焼売) No.155: (曜日の由来) No.156: (文字の縦書き横書き) No.157: (和菓子)
- No.158: (〇〇の守) No.159: (尼崎電話局番 06) No.160: (食品サンプル)
- 2019年度: No.161: (大使館と領事館) No.162: (九州) No.163: (尊王と佐幕) No.164: (銃と砲) No.165: (戦国の旗指物)
- No.166: (左翼と右翼) No.167: (日本の伝統文様) No.168: (カレー) No.169: (日本の甲冑) No.170: (阪急電車II) No.171: (中国共産党)
- No.172: (家紋) No.173: (関東軍) No.174: (牛肉と豚肉) No.175: (水引) No.176: (シベリア抑留) No.177: (新撰組)
- No.178: (キタとミナミ) No.179: (船名と艦名) No.180: (倭寇) No.181: (軍艦敵傍消失事件) No.182: (六道珍皇寺)
- No.183(東京駅の成立) No.184 (チャップリン暗殺計画)
- 2020年度: No.185: (新幹線ドクターイエロー) No.186: (大化の改新) No.187: (上戸と下戸) No.188: (三重県は何地方)
- No.189: (梅田歩道橋と浅草雷門) No.190: (壬申の乱) No.191: (大阪環状線) No.192: (灘と伏見) No.193: (ブルートレイン)
- No.194: (水軍) No.195: (天王寺七坂) No.196: (東京裁判) No.197: (日本の頑固) No.198: (金と銀) No.199: (ハル・ノート)
- No.200: (天王山と関ヶ原) No.201: (日本四分制統治計画) No.202: (スパイス) No.203: (ものの始まり何でも堺)
- No.204: (城の石垣) No.205: (徳利と盃) No.206: (チーズ) No.207: (ゼロの発見) No.208: (ネクタイ)
- 2021年度: No.209: (年度の始まり) No.210: (東京大阪京都嫌い) No.211: (琵琶湖疏水) No.212: (大阪とソース) No.213: (大日本どけち教)
- No.214: (切子ガラス) No.215: (ノモンハン事件) No.216: (仏教の語源) No.217: (南京攻略戦) No.218: (SP) No.219: (真珠湾攻撃)
- No.220: (物の教え方) No.221: (ミッドウェイ海戦) No.222: (平将門と神田明神) No.223: (ガダルカナル攻防戦) No.224: (孝明天皇毒殺説?)
- No.225: (インパール作戦) No.226: (芸者と芸妓と舞妓) No.227: (沖繩地上戦) No.228: (幕末の金銀流失) No.229: (本土空爆と原爆投下)
- No.230: (明治ゲルマン紙幣) No.231: (北海道の開拓) No.232: (アメリカ合衆国の成り立ち)
- 2022年度: No.233: (日本の人口の時代推移) No.234: (北大路魯山人) No.235: (一休さん) No.236: (古地図と武鑑) No.237: (適塾)
- No.238: (兵庫と神戸) No.239: (江戸府内と関八州)

(裏面あり)

日英同盟 : (英 : Anglo-Japanese Alliance ・ 日本と英国(連合王国)の軍事攻守同盟条約)。

第一次同盟 : 明治 35(1902)年 1 月 30 日締結 ・ **第二次同盟** : 明治 38(1905)年 8 月 12 日改訂 ・

第三次同盟 : 明治 44(1911)年 7 月 13 日改訂 ・ **同盟失効** : 大正 12(1923)年 8 月 17 日失効 ・

清国への列強侵出と義和団の乱(北清事変) :

露仏独の進出と英の利権縮小 : 日清戦争で日本に敗れ対日賠償金支払いに窮した清国は、露・仏より借款を受け、三国干渉(独仏露)により、露(満洲進出、遼東半島、旅順占領)・仏(南支進出)・独(膠州湾、山東半島占領)の利権が拡大、阿片戦争以来の英の権益が圧迫される。

義和団の乱(北清事変)と北京籠城 : 山東省で発生した義和団(排外主張の団体)が、「扶清滅洋(清を助け洋を滅す)」との主張で、20 万名が北京に入城す。



◎ : 明治 33(1900)年 6 月 21 日、義和団蜂起に乗じて清朝の西太后は「宣戦布告」を發し、北京の列国公使館を包圍、列国は連合軍(英(印・濠植民地軍含む)・米・露・仏・独・墺・伊・日 8 カ国 : 総兵力 20,000 名)を組織し救出に派兵す。

北京籠城を成功させた柴五郎中佐と日本軍への信頼 : 義和団と清朝軍に包圍された列国公使館(紫禁城東南「東交民巷」に所在 : 各国外交団 925 名・各国護衛兵総数 481 名)は籠城、連合軍の到着までの 55 日間を耐え抜いた(米映画『北京の 55 日(55 Days at Peking 1963 年製作)』で有名)。

◎ : 籠城にあつて、北京公使館付陸軍武官柴五郎陸軍中佐が、実質総指揮者として各国を見事にまとめ籠城戦を成功させ、また、連合軍派兵中の日本軍の「優秀さと軍紀の正確さ」は群を抜き、列国、特に英(列国公使館代表英公使 C・マクドナルド)の称賛を受け、日本への信頼を高める。



柴五郎 小村寿太郎

露仏露の進出阻止と英の極東での空白 : (独仏露の侵蝕で清国権益を圧迫される英は、南阿戦争(ボーア戦争)中で極東での余力が減少、露の進出に危機感を強くし、アジアでの同盟を模索す)。

日露か日英か : (日本もまた、露の極東(満洲・遼東半島・朝鮮)進出に警戒感を強める)。

対露協商派 : 伊藤博文(前首相)、井上馨(元蔵相)らが、露と協商し妥協すべく主張。

対英同盟派 : 桂太郎(首相)、加藤高明(前外相)らが、露との対立は将来不可避で英との同盟を主張。

小村寿太郎意見書 : 外相小村寿太郎が、露本質は侵略主義、英本質は通商主義、露との平和は一時的、英との平和は永続的、露は大陸国、英は海洋国、と見事に本質を見抜き意見書を建議、両論を決着させ英との同盟に決定、以降、同盟交渉に進む(「小村寿太郎意見書」)。

同盟を可能にした英の対日信頼 : (英は、前述の「義和団の乱」での日本軍への信頼と共に、その以前の日清戦争時、日本軍が占領した山東半島威海衛を租借のため、日本軍撤退後に入城すると、兵營は整然清潔に整えられ、多数器具も残され、日本軍の軍紀規律の厳格さ、勇敢さに感銘、これら事績が英の日本と日本軍への信頼感を高める所以となる)。

日本に接近する英 : (英は、伝統の「名誉ある孤立(何れとも同盟せず、欧大陸に不干渉を守る伝統の外交政策)」を破り、特に露と仏に警戒感を高め、極東権益維持のため、「信頼できる日本」との極東での同盟に接近す)。

日英同盟(第一次同盟) : (明治 35(1902)年 1 月 30 日、ロンドンの英外務省で林董駐英公使(男爵)と英外相ランズダウン(ヘンリー・ペティ=フィッツモーリス・第 5 代ランズダウン侯爵 : Henry Petty-Fitzmaurice 5th Marquess of Landsdowne)との間で『日英同盟』が締結される)。

(1) : 英の清国における、日本の清、韓両国における利益擁護。

(2) : 一方が第三国と交戦の場合、他方の厳正中立。

(3) : 一方が、二か国以上と交戦の場合、他方の参戦義務。

日露戦争 : (明治 37(1904)年 2 月 8 日~明治 38(1905)年 9 月 5 日) : (No.135(日露戦争)ご参照)。

◎ : 英は、表面的には中立を装い、諜報提供、露遠征艦隊への妨害など、日本を援助した。

日英同盟のその後 :

第二次同盟 : 明治 38(1905)年 8 月 12 日改訂、同盟適用範囲を東亜(清韓)から東亜印に拡大す。

第三次同盟 : 明治 44(1911)年 7 月 13 日改訂、同盟に基づき日本は第一次世界大戦に参戦す。

同盟解消 : 大正 12(1923)年 8 月 17 日、日英同盟を嫌う米の日英米仏の「四か国条約」移行で失効。